



ゆり北

1984年 5月30日

第6号

発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町
3-32-13-506
電話03(977)3842

四月二十二日、自治会第二回総会が新町小学校体育館で午後二時から開かれました。結成当時四六一名（五九％）だった会員は、総会当日の入会も含めて五二八名（六七％）と増えた。第二回総会となりました。出席は九六名、委任状は二三七名でしたので六三％の参加で成立しました。

総会では、この半年間の活動報告、および決算報告、会則改正案を満場一致の賛成を得て可決承認されました。活動方針の質疑では活発な意見が出され、光が丘公園造成・公園駐車場の計画に関する意見、カシ補修の問題で管理組合との関係について、また「住民の輪を広げ交流を深める取り組み」の中の、子供中心の事業、お年寄りや身体の不自由な人との交流について具体的な欠けるところではないかという指摘もありました。

新役員の選出については、前日から不在者投票も行い、候補

大きな期待で第2期スタート

第二回自治会総会開く



者十八名全員が信任されました。なお、総会には来賓として、新町小学校日高校長、むつみ台自治

治会山内会長、同僚原副会長も出席していただき、挨拶がありました。管理組合江頭理事長代行からのメッセージが紹介されました。

「熱」が入っている(?)

熱供給回答

第二回自治会総会で会員より要望があった「暖房・給湯」問題について、東京熱供給協会の「暖房・給湯」問題について、次の回答がありました。

問 四月二十三日の暖房停止は不満。気候に応じ

答 延長できないか？

答 二つの理由で不可能。一つは四号棟・五号棟

そして十号棟の南側の機械は初年度用として設置され、騒音が生ずるため全面取り替えが決定しているからです。もうひとつは、法定検査日が定められており、それまでに止めなければならぬからです。

問 暖房の一時停止などに対する料金値引きはどのように行われたのか？

答 計算内容を早急にチラシにし各戸に配布します。

問 料金の銀行口座引き落としが、一方的に毎月二十四日に変更されたのはどういうことか？

答 電算機処理のため変更せざるを得ず、利用者のご理解をいただきたい。二十六日の引き落としに、努力します。（5月から26日引き落としです。）

第2期 役員氏名 (昭和59年4月22日選任)

役職	氏名	住所	職業
会長	黒田 隆 宣	13-506	会社役員兼著述業
副会長	阿部 憲 一	10-809	書店勤務
〃	今野 康 夫	1-310	病院勤務
〃	佐藤 禎 男	1-313	自 営
事務局長	吉柳 俊 孝	4-403	地方公務員
会計幹事	多田 功	4-804	運 転 手
〃	加賀谷 宏	11-208	書 家
〃	北村 優 治	1-712	会 社 員
〃	樟山 光 雄	14-513	会 社 員
〃	小山 洋 子	1-402	主 婦
〃	鈴木 詳 二	8-105	地方公務員
〃	高橋 廣 志	5-906	自動車検査員
〃	西沢 由美子	14-314	タイピスト
〃	西村 勇	4-706	印 刷
〃	森 秀 人	6-304	会 社 員
〃	綿村 悦 子	1-702	主 婦
会計監査	江川 南海子	4-707	会計事務所
〃	桃井 唯 史	5-808	会 社 員

* 役員の補充について *

幹事の定数を10名から15名に増やす会則改正が、総会の承認を受けましたが、それに基づき役員補充の公募をしたところ、次の方々の立候補がありました。5名の定数に対し1名欠員ですが締め切りました。直近の自治委員会の承認により決定いたします。

渡辺 利 治 4-705 教 員
小林 健 三 1-707 経営コンサルタント
渡辺 継 生 11-310 自 営
水原 三喜蔵 10-405 保険代理業

よろしくおねがいします。



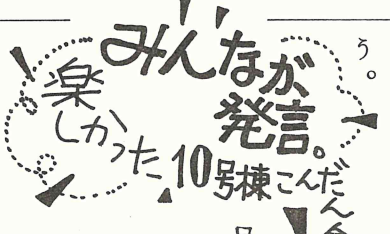
事が起こったのは十四号棟・四〇八号の高木宅。去る四月十八日午後三時ごろ、奥さんが電話中に、二歳の康人君が「無断外出」。お母さんや子供たちが手で分けして一時間半ほど探しても行方不明。赤塚派出所のお巡りさんやパトカーまで出動しました。

午後四時四十分頃、十三号棟三〇七号の黒田清子さんが、康人君を田柄公園近くの駐車場で

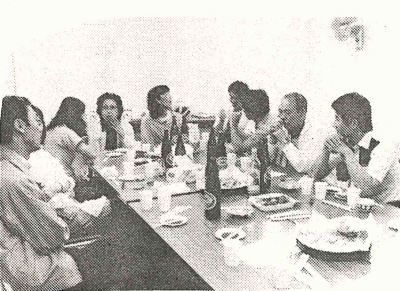
各号棟の

懇談会を開きます

五月末から六月初めにかけて各棟の懇談会を開きます。親睦の話し合いや、問題を出し合い話し合ったり、親睦を深め、今期の自治委員・世話人の選出も行ってください。ポスターやチラシで日時を各棟ごとにお知らせします。是非ご参加くださるようお願いいたします。各棟の自治委員・世話人の方々、準備をよろしく願います。



10号棟こんだん会
会は、五月二十日(日)終わりました。



計報

去る四月二十一日、十一号棟五〇七号、鈴木ちよさんが逝去されました。七十二歳でした。慎んでお悔やみ申し上げます。

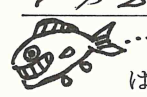
春まだ浅い三月二十三日、天気心配をしながら職場の釣友二人と釣りに出かけました。仕事が終わるのもどかし、いそいそと千倉へ向けて出発。たいした渋滞にも巻きこまれずに首都高速から京葉道路へ。走っている間も天気心配、ドライブインでも天気心配。予報では海上はシケ、強風波浪注意報も出るという悪条件。気が気じやありません。実は私、一昨年は行く度に台風に見舞われて最悪、昨年本命「黒ダイ」に見えなされ、実に二年もの間対面に待ったをかけられていたのです。はやる心を抑えて安全運転一筋に、鴨川から一路千倉を目指します。

南房総千倉釣行記

1の310

今野康夫

おいたエサを積みこんで釣り場の下見。思ったとおりの大荒れで、夜目にも白い波頭が岩をのりこえて砕けています。これでは磯へ出るのは無理と判断して逆戻り。千倉の北のはずれの白子(しらこ)港へと向かいます。初めての釣り場で、多少の不安はありますが、そこは釣りバカ、事前に十分な情報収集をしてあるので何とかなりそう。朝暗いうちに釣り場に入るの、釣り座を確認。波止めの先端の小さな岩場ですが、三人で釣るには十分。まずはひと安心ということ、インスタントラーメンをすすって仮眠。この時半前一時。目覚ましもないのに三時半には起きだして釣り場へ。四時から寄せ餌をまきながら仕掛けの準備。空の白むのを待ちます。何しろ真っ暗で、



足一内房線・千倉下車・バスで白間津下車 徒歩十分位

浮きなんかまだ見えないんですから。五時近くなつてようやく浮きが見えるようになった。第一投。しばらく流して引き上げてみると、餌がありません。何やら良い予感がしてきました。七時頃、待ちこがれていた魚信の第一号！横に流れていた浮きがスーと沈みます。釣をのませる作戦です。口の中で五つ数えて大きくあわせ。二年間待ちに待ったあの力強い重厚な引き！玉綱に納まったのは、正しく本命！四十三cm・四kgの良型でした。このあと三十分おきぐらいに釣友二人にもあたりがあり、それぞれ一kg級を一尾ずつ釣り上げ、最後に私が、四十一cm・三kgを釣り上げて午前の部終了。午後から南西の風強く、くしゃみは出るし(杉花粉症)の風強く、くしゃみを過ごすことが出来ました。釣果(ちようか)釣りの成果をひっつけて釣り政へ行くと、二月半ばから全然釣れていなかったとかで、おやじさん大感激。おまけに「三名で釣りに来て三名とも釣り上げたのは開店以来これが初めて」だそう。釣った我々よりもおやじさんが大騒ぎ。「ひと月以上も魚拓を取ってないから取り方忘れた」と又々大騒ぎ。とにかく愉快なおやじさんです。といったわけで、今回は良い釣りをいたしました。釣り具、餌、釣り情報は白間津港そばの「釣り政」が親切です。